

# 男はつらいよ

## 最新24作

### 寅次郎春の夢

監督・原作 山田洋次

#### ◆ものがたり

ご存じ寅次郎は秋祭りで忙しく、半年も故郷柴又へ帰っていない。柴又帝釈天境内に散歩に出た御前様がふと見ると、ベンチで憐れな格好でふさいでいる外人がいるではないか。御前様も語学は苦手、「とらや」に源公を走らせ、寅さんの妹さくらを呼びにやるのだが、さくらにしても困ったことだ。「そうだ、息子の満男が通っている英語塾の先生に……」と思いついた。満男も、もう小学校の四年で英語塾に通っていたのである。若い美しい先生の恵(めぐみ)の通訳でこの外人の素性と、困っていることが判明した。この外人マイケル・ジョーダン、アメリカはアリゾナ州の出身でビタミン剤のセールスマン。日本での新市場開拓にやってきたのだが、商売はうまくゆかず無一文になってしまったと言うのである。困った時はいずこも同じと、その日から、マイケルは「だんご屋とらや」の住人となったのである。そんな頃、寅次郎が突然、帰ってきた。そこで寅とマイケルは、ばったり会ってしまった。「黒船以来、日本人はアメリカ人に迫害されている」だの「徳川幕府が減じたのはアメリカのためだ」とか言って、寅はマイケルに、ボデイ・ランゲージで、嫌悪感を現わすのである。そして幾日かが過ぎた夕方のこと、おばちゃん、マイケルのためにビフテキを作っていることから寅とマイケルは本格的に喧嘩をしてしまった。寅の言い分は「俺がタマに帰ってきてても、いつも芋の煮ころろがして俄慢させられて、なんで他人のアメリカ人にビフテキを喰わせるんだ」とカンカンになって怒り出した。たまたま、そこへ来合わせた英語塾の恵(めぐみ)先生と母の圭子が間に入って止め、マイケルには恵が英語で話したものの、寅とマイケルの気持はおさまらなかつた。結果、二人はそれぞれにトランクをぶらさげて柴又を右へ左へと飛び出してしまふ。

ここ温暖の地・紀伊半島にも、やがて冬が来ようとしている。柴又を飛び出した寅は、何と偶然にもこの地でマイケルに会ったのである。喧嘩して別れた二人であったが、旅は道づれと、寅の身ぶり手ぶりの動作で、マイケルの心も幾分なごんでくるのであった。ある宿で、マイケルは女主人の通訳で寅に思わぬことを言い出した。「ワタクシは寅さんの妹のさくらさんが大好きです」と。これには寅も驚いた。「さくらは亭主持ちなんだ」と説明するのだが、マイケルの思いは変らなかつた。その時、寅の心にもふとマイケルと喧嘩した時に止めた入った、あの美しい圭子の顔が映し出された。圭子の夫は、それは大きい外国船の船長をしていて、圭子も恵も長いアメリカの生活が続き幸福であったのが、三年前、悪夢のような自動車事故で死亡し、母娘は日本へ帰ってきたのだった。

寅とマイケルは再び柴又へ戻った。さくらへの思慕を断ちきれないマイケルは、或る日さくらに「アイ・ラブ・ユー」と求愛した。困ったさくらは、圭子にそのことを相談した。圭子はマイケルの心を傷つけないよう「さくらは、夫の博さんを心から愛しているのだから」と悟らせた。マイケルはアリゾナへ帰ろうと決心した。たった一つ肌身離さず持っていたオパール製の指輪を売って……。一方、寅は娘の恵を通して圭子へのほのかな愛を打ち明けた。だが恵の答は「私にはお父さんは一人しかいないのです」とやさしく言われて、寅は例のごとく故郷柴又を後にして南の城下町への旅に立つてゆくのだった。

正月がきて、「とらや」にも沢山の年賀状が届いた。その中に、たまただしい日本語で一通のハガキがアメリカからきていた。「オモエバ恥ツカシキコトノカズカズ、さくらサンニ迷惑ヲカケマシタ。さくらサンハ美シク良イ人、ソシテ寅サンハ私ノ永遠ノ友ダチデス」と記してあった。



#### ◆スタッフ

製作……高島清  
企画……島津俊一夫  
エンター……小林幸夫  
ストーリー……山田洋次  
脚本……山田洋次  
レナード・タナカ  
山田洋次  
脚本……山田洋次  
レナード・タナカ  
山田洋次  
撮影……朝間義隆  
音楽……山本直純  
音響……朝間義隆

#### ◆キャスト

車寅次郎……渥美清  
さくら……倍賞千恵子  
圭子……香川京子  
恵……林寛子  
マイケルジョーダン……ハープ・エデルマン  
竜造……下條正巳  
つね……三崎千恵子  
博……前田吟  
社長……太宰久雄  
御前さま……笠智衆

監督・前田陽一  
桃井かおり  
渡瀬恒彦

同時上映

もしかしたら、もしかしたら  
結婚しない女、  
結婚したい男……!



# 赤ん坊



横濱松竹	川崎ロイヤル	歌舞伎町新宿座	池袋日勝	蒲田口キシ	江東名画座	上野松竹	新宿松竹	浅草松竹	赤ん坊2本立	「男はつらいよ 寅次郎春の夢」	「神様のくれた 赤ん坊」	相鉄中央	松竹大宮	吉祥寺松竹	渋谷松竹	池袋松竹	銀座松竹	銀座文化1	「男はつらいよ 寅次郎春の夢」
(261) 2790	(233) 9381	(209) 4338	(971) 9437	(738) 0010	(631) 3121	(831) 4963	(354) 2414	(841) 2022	(841) 2022	(311) 5573	(311) 5573	(42) 5321	(48) 6521	(400) 1477	(971) 1077	(541) 1786	(561) 0707	(561) 0707	1本立

12月28日(金) 松竹系封切  
特別鑑賞券1000円 (当日一般1300円のところ)

たくら  
あいの野郎  
ぶぶげやがっ  
お前に  
惚れちまふだが

渥美清  
ハーベ・エデルマン  
香川京子  
林寛子  
倍賞千恵子  
他おなじみ  
シギエラ一陣



原作・監督 山田洋次

はつらいよ

寅次郎春の夢

最新 24作

松竹映画